

佳作 初めて日本の電車に乗る



金 朝
JIN ZHAO
国 籍 中国
職 種 機械検査
実習実施者 瑞陵精機株式会社
監理団体 SCI 協同組合

私は日本に来て初めての連休で、同じ日本に働いている母親の所へ行くため、電車に乗りました。中国でも地下鉄やバスをよく乗りましたが、日本の電車にはどんな違いがあるのか、とても楽しみにしていました。

この日のためにあらかじめ調べたとおり、駅の券売機で切符を購入しました。日本の駅には、さまざまな種類の切符があり、初めての人にとってはどれを選べばいいのか迷うこともあります。しかし、私はあらかじめ調べていたのでいたので、必要な情報をすぐに見つけることができました。

私は住んでいるところの駅から大阪に向かう電車に乗りました。電車に乗る前に、組合の先生から乗り方を教えてもらったが、日本語を練習するため、駅員さんにチケットを ゆっくりと話してくれたので、何とか理解できました。

初めて日本の電車に乗るとき、私は正直言って緊張しました。日本の駅は、中国のそれとは全く違うレベルの秩序があり、私は何が起こるか分からなかったからです。

しかし、日本の電車に乗ることは、私が想像していた

よりも簡単でした。駅員が親切に案内してくれ、券売機も分かりやすく、乗車する車両や列車の行き先も明確に表示されていました。また、日本の電車には時刻表がはっきりと表示されているので、どの駅で降りるべきか迷うことはありませんでした。私は日本語があまり上手ではありませんが、電車のアナウンスが流れるたびに、日本語の勉強にもなりました。

そして、電車が進むにつれて、日本の田園風景や都市の景色が窓の外に広がっていきました。私はその美しい景色に、目を奪われてしまいました。電車に乗っている間、景色を眺めたり、音楽を聴いたりとりラックスした時間を過ごすことができました。そして、ついに目的地に到着した時、私は自分で日本の電車に乗ることができたことに感動した。初めての日本の電車体験は、私にとって忘れない思い出となった。

電車に乗ることは二十代の成に対して大した事ではないかもしれないが、初めて言葉つじない外国に来る私にとって、大切な体験でした。電車に乗れると、もっと遠く所に移動することは可能になり、日本にいる生活がもっと自由になれる。これらら日本に実習する間に、電車を利用して、さまざまな所に行きたい。

次の連休で大阪より遠くまちに行きたい。中国にも神戸牛肉が有名なので、機会があれば神戸に旅行したい。長い旅すると多く人に会えると思います。そうあれば日本語の練習もできるでしょう。今後も、できる限りのチャンスを掴んで、日本の生活をなれるように、努力したいです。